学校番号	119

令和２年度　芸術科（音楽）

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	音楽Ⅰ「Ｔｕｔｔｉ」　（教育出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽をつくること」「音楽を聴くこと」の４つの分野を年間通して学習します。
・学習の到達度は、授業で配付するワークシートや実技テストで評価します。
・音楽の学習は、クラスメートとともに実際にやってみて、試してみてこそ価値あるものとなり、そうして感性が豊かになります。
・音楽が、生涯ずっと、みなさんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

2　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	D：鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	観察 ワークシート	観察 ワークシート	演奏の聴取 提出プリント	観察 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				題材の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	イメージをもって豊かな声で歌いあげよう！ ～出会いのうた～	【歌唱】 校歌 YELL 青いベンチ O sole mio	○	○	○		a:歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図をもっている。 c:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	アルトリコーダーを楽しもう	【器楽】 音階 桜 アメイジング グレース	○		○		a:リコーダーに関心をもち、楽器の持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 c:リズム譜を読譜し、表現したいことを伝えるための技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
		【創作】 リコーダーの 曲をつくろう		○			b:リズムの特徴や反復、変化を知覚し、その働きを感受しながら、表現したい音楽をイメージして、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	鑑賞のファーストステップ ～音楽を聴く力をつけよう～	【鑑賞】 バレエ音楽 ボレロ(ラヴェル)	○			○	a:管弦楽で扱われる楽器の音色や旋律、リズムの特徴と表現上の効果との関わりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート
2学期	英語の語感を生かしてゴスペルに挑戦しよう	【歌唱】 ヘイルホーリークイーン	○	○	○		a:ゴスペル音楽の歴史や歌詞の意味、楽曲に関心をもち、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:「ヘイルホーリークイーン」のリズム、速度、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:曲想を歌詞や楽曲の背景と関わらせて、イメージをもって音楽表現するために必要な発声、英語の発音、呼吸法、読譜などの技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取

	箏に挑戦！	【器楽】 さくらさくら 泉	○	○	○		a:箏の音色や奏法の特徴に関心をもち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組んでいる。 b:音色やリズムなど音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:箏の音色や奏法の特徴を生かした技能を身に付け、創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	日本の民謡の特徴や日本の心を感じ取ろう	【鑑賞】 「民謡の特徴1」 「民謡の特徴2」	○			○	a:我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d:音楽を形づくっている要素を知覚、感受しながら、我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴を理解して、それらの価値を考えたりして、民謡に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート
	日本の音階で旋律をつくろう！	【創作】 「平調子」の旋律を使って創作しよう	○	○	○		a:我が国や郷土の音階の特徴に関心をもち、イメージをもって音楽をつくる学習に主体的に取り組もうとしている。 b:我が国や郷土の音階の特徴を知覚し、その醸し出す雰囲気を感受しながら、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。 c:イメージに沿った旋律やリズムの組み合わせ方、記譜の仕方など必要な創作技能を身に付け、創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	リコーダー二重奏に挑戦してみよう	【器楽】 あの日の川へ	○	○	○		a:リコーダーの基礎的な奏法を思い出し、友人と協力してアンサンブル演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:旋律と和音の特徴を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、アンサンブルを工夫している。 c:アンサンブルするために必要な基礎的な演奏技能を身に付け、表現している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
3学期	鑑賞のステップアップ ～声の魅力を探ろう～	【鑑賞】 オペラ「トゥーランドット」より 「誰も寝てはならぬ」(プッチーニ)	○			○	a:総合芸術オペラの特徴に、関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d:声の音色と表現上の効果との関わりを知覚、感受し、アリア「誰も寝てはならぬ」とその演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、オペラに対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート

	旋律の美しさや言葉の響きを感じ取って三部合唱しよう。	【歌唱】 花は咲く	○	○	○		a:曲想と文化的・作曲された背景との関わりに関心をもち、歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:旋律、リズム、ハーモニーなど音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、曲種に応じた発声の特徴を生かした表現を工夫し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	文楽に親しむ	【鑑賞】 文楽(人形浄瑠璃) 「義経千本桜」から ＜道行初音旅＞	○			○	a:我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d:音楽を形づくっている要素を知覚、感受しながら、我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴を理解して、それらの価値を考えたりして、文楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	さまざまな楽器で器楽合奏をしよう。	【器楽】 ありがとう	○	○	○		a:さまざまな種類の楽器に関心をもち、合奏をする学習に主体的に取り組もうとしている。 b:旋律、ハーモニーを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:曲想や楽曲の背景と関わらせて感じ取り、イメージをもって合奏するために必要な演奏の技能を身に付け、協力し合い創造的に表現している。	観察 ワークシート 演奏の聴取

※　表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度　b:音楽表現の創意工夫
c:音楽表現の技能　d:鑑賞の能力

※　原則として、「歌唱」「器楽」「創作」の分野はa,b,cの３観点で、「鑑賞」の分野はa,dの２観点で評価をする。

※　年間を通して全ての観点について評価することとなるが、学習内容（題材）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。